

# 避難時の行動

## 避難で自宅を離れる前にチェック

### ① ガス



火を消し、  
元栓とメーターを  
閉める

### ② 電気



電気機器の  
プラグを抜き、  
ブレーカーを切る

### ③ 水道



蛇口やメーターの  
止水栓を閉める

### ④ 戸締まり



窓と玄関を  
閉めて  
鍵をかける

家を空けるときは、①～④を確認してから移動する。  
電気機器が原因で起こる通電火災やガス漏れ事故、  
空き巣などの二次災害防止につながる。

## 最新情報の入手は早めに

雨量、河川水位など水害に関する情報は、さまざまな方法で発信されている。気象庁や自治体など公的機関の最新情報を収集する。

テレビ、ラジオ、ウェブサイト、メール、防災行政無線、  
広報車などから情報を取得して、  
避難準備や避難開始を早めに  
判断する。



## 避難時に注意すること

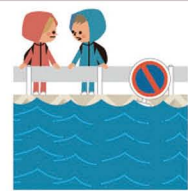
荷物は  
最小限にする



歩いて避難する



狭い道、  
塀の近く、川べり、  
ガラスの破片に  
気を付けながら  
移動する



## 避難は安全な場所へ 総合的に判断する

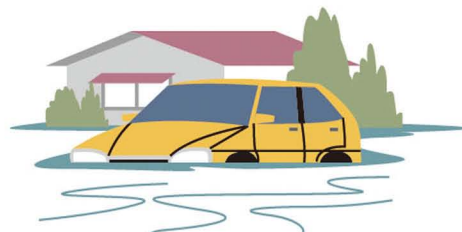
### できるだけ2人以上で行動

避難時は近隣に声を掛けるなど、集団で協力して行動する。  
特に高齢者、子ども、病気やケガの方は早めに避難  
する。避難するときは動きやすい格好で、2人以上の行動  
を心掛ける。



### 自動車での避難は危険な場合も

自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開か  
なくなったりして危険な状態になる。特別の場合を除いて  
自動車での避難はしない方がよい。もし乗車中に浸水した  
場合は、車両を止め、エンジンを停止させ速やかに車外に  
出る。



### 外が危ない場合は屋内の安全な場所に

「すでに家の周りが水に浸かっている」「夜で道が暗い」  
というときは、外に避難することが逆に危険につながる  
ことも。室内の2階以上や崖と反対側の部屋など、屋内  
の中で少しでも安全な場所に避難する方法もある。

